



基本的な考え方

保土谷化学グループは、事業活動を営んでいく上で、コミュニティの持続的発展への貢献を企業市民として重要な活動と考えております。化学を通じた子供たちの育成、工場が立地する地域での環境保全活動や、人々の豊かな暮らしに役立つ有形物・無形物の提供等、さまざまな地域貢献活動に取り組んでおります。

また、内閣府が「激甚災害」に指定した災害が保土谷化学の主要拠点所在地で発生し、拠点近隣の被害が甚大であった場合、前年度当期利益の一定割合を被災した県に支援金として寄付することにしており、最近では2019年10月の台風19号による郡山市の被害が激甚災害に指定された際は、復興に役立てていただけるよう、福島県に支援金を寄付しました。

仁井田本家の草取りのボランティア活動 郡山工場 原 明日香

郡山工場では、今年から仁井田本家の草取りのボランティアに参加することになりました。

仁井田本家は、福島県郡山市の酒蔵で、農薬・化学肥料を一切使わず栽培した酒米で純米造り100%の日本酒“にいだしぜんしゅ”をはじめとする、日本酒・発酵食品の醸造・販売をされています。

ボランティア当日は、工場から21名が参加し、中野式除草機をお借りして、3枚の田んぼの草取りをさせていただきました。

仁井田本家の方に直接除草機の使い方や、日本酒を作る上でのこだわり等をご教示いただきました。初めての田んぼ作業や、地域の方と直接お話しさせていただくのは非常に新鮮で楽しかったです。このボランティアを通して、地域の方と交流することができました。また、自然や日本の文化に触れる貴重な機会でした。今後も積極的に地域や社会に貢献できる活動に参加していきたいです。



Column

— 化学の力で森林を守る — ～スマート林業※における保土谷アグロテック株式会社の役割～

国土の2/3を占める森林は、水源涵養、国土保全、温暖化の防止、木材・林産物の供給等、国民生活に大きく貢献しております。人工林は切って、使って、植える形で循環利用されますが、それを担う林業従事者たちの人手不足は深刻で、労働力の確保が大きな課題となっております。植栽後の数年間は、苗木の成長を妨げる雑草木との闘いです。真夏の炎天下での草刈り(下刈り)は機械化が進まず、最もつらい作業と言えます。

農薬の製造販売を行う保土谷アグロテック株式会社は、山林用に開発した除草剤をドローンで散布するという新技術確立し、作業の省力化を図り、かつ、汗まみれの重労働から作業者を解放するといった労働環境の改善につなげました。さらに、忌避剤や苗木保護資材の提供によって野生動物から苗木を守り、化学の力で持続可能な林業のお手伝いに取り組んでおります。

※ スマート林業とは、デジタル管理・ICT(情報通信技術)による林業、安全で効率的な自動化機械による林業のこと。(林野庁)



— 地域と連携・共創し、未来につなぐ — ～企業版ふるさと納税を通じて、地方創生へ寄与～

保土谷化学グループは、有機・光デバイス材料事業で得られた利益の一部を社会に還元しようという目的で、企業版ふるさと納税へ寄付いたしました。有機・光デバイス材料を製造する郡山工場は、JR郡山駅東口に位置しております。工場の立地する福島県の復興の一助として、「農作物の風評被害への対応や農業の推進に寄与できればとの想い」と「環境調和型の生活文化の創造に貢献する」という保土谷化学の経営理念の下、福島県の企業版ふるさと納税「福島大学と連携した持続可能な地域農業モデルの創出事業」へ、寄付することいたしました。

日頃からお世話になっている福島県の地方創生に貢献すべく、今後も、保土谷化学グループは、地域の皆様と連携し、持続可能な地域の発展に努めてまいります。

